

市内の中学校へ、市立高の教員であった 「渡邊白泉」の俳句本が寄贈されます

要 旨

沼津にゆかりのある「渡邊白泉」という俳人について中学生に知ってもらいたいと、俳句本2種(「渡邊白泉の句と真実」「渡邊白泉の100句を読む」各22冊)の寄附の申し出がありました。

寄附者が教育長を表敬訪問し、寄贈式を行います。

概 要

- 1 日 時 令和3年7月8日(木) 13:30~14:00
2 場 所 沼津市役所7階教育長室
3 内 容 寄附者 佐藤 和成(さとう かずなり) 様
根木谷 信一(ねぎや しんいち) 様
受領者 教育長 奥村 篤
贈呈先 市立中学校(17校) 各1セット、市立高等学校中等部 各5セット

4 人物について

【渡邊 白泉(わたなべ はくせん) 1913(大正2)年~1969(昭和44)年】

- ・東京出身の俳人で、昭和初期の新興俳句運動において無季派の俳人として活躍した。
- ・「戦争が廊下の奥に立つてゐた」など、戦争の本質を鋭く突いた「銃後俳句」と呼ばれる無季俳句が特に知られている。
- ・1940(昭和15年)、新興俳句弾圧事件により、治安維持法違反の嫌疑で起訴猶予を受け、執筆禁止を言い渡されるが、水面下で句作を続ける。
- ・戦後、岡山県の田舎町や、静岡県島の三島で高校教師として勤務したのち、1952(昭和27)年から沼津市立沼津高等学校の教員となり、在職中の1969(昭和44)年、脳出血で亡くなる。
- ・生前句集を出していなかったが、ほどなく職場のロッカーから自筆の句稿本が発見され、門人たちにより句集が刊行された。
- ・沼津市立沼津高等学校構内には、白泉の句碑が建てられている。



お問い合わせ先

沼津市役所 教育委員会事務局 学校管理課
直通:055-934-4805 内線:2772

